

Classic Nagoya クラシック名古屋
〒460-0024
名古屋市中区正木西丁目8番7号れんが橋1F
TEL(052)678-5310 FAX(052)678-5330
<http://clanago.com>

プレイガイド
アイ・チケット
☎0570-00-5310

ナゴヤ劇場ジャーナル

◆発行/マネージメント・プロ ◆編集/プランニングオフィス白壁 ◆協賛/クラシック名古屋

MP MANAGEMENT PRO

①舞台・イベントの企画・制作・マネージメント
②芸術コンサルティング
③タレントのマネージメント
④ナゴヤ劇場ジャーナルの発行

株式会社マネージメント・プロ
〒464-0850 愛知県名古屋市中区千種区今池1-14-11 CASA LUZ302
TEL.052-735-3151 FAX.052-735-3152
E-mail: mpoffice@pa2.so-net.ne.jp

前回(2010年)の「シンデレラ」



主演に佐々部佳代、仙女に太田菜緒
1月6日・刈谷市総合文化センター



佐々部佳代

市川透の創作バレエを上演するバレエ・ネクス（代表・福田晴美）が1月6日（午後7時）刈谷市総合文化センター大ホールで「市川版シンデレラ」を上演する。



太田 菜緒

市川は「主要人物の人間性を重厚に描きたい。キーワードはガラスの靴ではなく、手（心）のぬくもり。幸運は、真摯に努力

BALLET NEXT 市川透版「シンデレラ」

ストロリストを務めた佐々部佳代がタイトルロールを、今年の「バレエコンペティション21」(フロ部門12、16歳で第1位になった太田菜緒が仙女を演じる。

市川は「主要人物の人間性を重厚に描きたい。キーワードはガラスの靴ではなく、手（心）のぬくもり。幸運は、真摯に努力

市川透の創作バレエを上演するバレエ・ネクス（代表・福田晴美）が1月6日（午後7時）刈谷市総合文化センター大ホールで「市川版シンデレラ」を上演する。

天才振付家マッシュー・ボーン



マッシュー・ボーン版「白鳥の湖」
©Hugo Glendinning / Bill Cooper

人気の3作品をスクリーンで公開

12月16日まで名演小劇場で上映中

斬新な解釈とアイデアで古典バレエの名作を再構築する天才振付家マッシュー・ボーン（英国）。その代表作「白鳥の湖」「眠れる森の美女」「ザ・カーマン」が名古屋の名演小劇場で公開される。

DanSkate
ダンススケイト

<http://danskate.com>
TEL 052-265-7900

生活力旺盛、バルバラに心酔する「変革の騎士」



エルムに初登場した Erinne

93 Erinne

「我が麗しき恋物語」「黒いワシ」など、シンガー・ソングライターとしてカリスマ的な人気を博したバルバラ（1930-97年）に心酔するErinne（えりんぬ）。シャンソンの明日を担う逸材が「エルム」に初登場した。

国立音大ではピアノを専攻。シャンソンの伴奏をしているうち、自ら弾き語りで歌うようになり、確かに、学生時代からフランス音楽には関心が強かったのですが

「エルム」に初登場したErinneは、必然とも言える巡り合わせを振り返る。住まいのある東京・吉祥寺でライブハウス「サロンド・シャンソンRE

「エルム」に初登場したErinneは、必然とも言える巡り合わせを振り返る。住まいのある東京・吉祥寺でライブハウス「サロンド・シャンソンRE

「エルム」に初登場したErinneは、必然とも言える巡り合わせを振り返る。住まいのある東京・吉祥寺でライブハウス「サロンド・シャンソンRE

「エルム」に初登場したErinneは、必然とも言える巡り合わせを振り返る。住まいのある東京・吉祥寺でライブハウス「サロンド・シャンソンRE

（13年撮影・105分）マッシューの最高傑作と評価されるのが「眠れる森の美女」。初演は12年（日本初演は16年）。悪霊カラボスの呪いで100年の眠りに落ちたオーロラ姫。目覚めた彼女を待ち受けていたのは、ミス・テリウスでスリリングな現代だった。出演はハナ・

ヴァッサロ、ドミニク・ノースら。ハザ・カーマン（15年撮影・98分）名作オペラ「カルメン」を題材に、テリー・ディヴィスの新たな音楽で構成したダンスオペラ。バレエとして2005年に初演。昨年映画版が制作された。背景は60年代の

米国、若者たちの情熱と欲望を、官能的なダンスでつづったアダルトチックな作品。出演はクリス・トレンフィード、アラ・ウィンセントら。公開は12月16日まで。名演小劇場。3作品の上映スケジュールなど、問い合わせはTEL052（931）1701。

のエネルギーに転換し、独自の音楽世界を創造した。Erinneには無限の生命力と可能性がある。エルムの加藤修造は「シャンソン界変革の騎士」として期待を寄せている。

円。TEL052（703）8971。創作オペラ「雪おんな」12月23日（午後5時）24日（午後1時、5時30分）瑞穂文化小劇場。脚本・山岸千代栄、音楽・倉知竜也、演出・景山紀子。怪談「雪女」を核に、普遍的な自然の摂理と愛を描く。出演は石川能理子、能勢健司、荻野砂和子、安田健、夏目久子、灰塚弘ほか。全自由席4000（当日4500）円。TEL080（3624）8604。和太鼓集団「鬼太鼓座」1月8日（午後3時30分）アートピアホール。世界各国で絶賛される極限のパフォーマンス。名古屋では1年ぶりの公演。全指定席3800、3000円。TEL052（265）2088。

Pavlova, Nijinsky Memorial Ochi International Ballet
クリスマスグランドバレエ 29シーズン

くるみ割り人形

スペシャル全幕 チャイコフスキー曲

出演：越智 久美子
ワディム・ソロマハ 越智 友則

2016年
12月27日(火) 18:00開演
日本特殊陶業市民会館 ビレッジホール

チケットお問い合せ

チケットぴあ
ローソンチケット
越智インターナショナルバレエ
(プレイガイド)
愛知芸術文化センター
栄プレイテック92
中日サービスセンター
名古屋文化振興事業団チケットガイド(ナディアパーク 8F)

X'mas特別料金
(全席定席)
A席 ¥4,000
B席 ¥3,000

Nutcracker Special

オチ 越智インターナショナルバレエ
バフロフ・ニジンスキー記念
総合TEL 052-481-4488
〒453-0018 名古屋市中村区佐古町16-41
<http://www.ochiballet.com/>

舞台批評

二期会「蝶々夫人」

濃密で重厚感あふれる舞台だった。名古屋二期会が世代交代をうたっ

ソリスト、演出、美術が一体化



日本情緒あふれる「蝶々夫人」の舞台

て上演した「蝶々夫人」(10月22、23日・芸術劇場大ホール)である。主役を務めたのは渡部純子と浅井恵子。私は初日の渡部グループを見た。

まず目を引いたのは舞台美術、繊細で風情に満

ちた武家屋敷。背景の港の絵がイマイチだったが、オペラの背景としては一級の代物。こんな舞台に立つことのできるソリストは幸せだ。

若手では群を抜くと定評の渡部も、さすがに力が入った。高音が割れ、前半は本来の出来ではなかった。演出の岩田達宗は演劇性に重きを置き、芸達者なピンカートン役



アリアを歌う盛かおる

狂乱の場、鮮やかに演じ切り

ソプラノ盛かおる

名古屋のホープだったソプラノ盛かおるのリサイタル(11月5日・電気文化会館)は、期待通り素晴らしいかった。

オペラ歌手として活

の小山陽二郎、村間(ほか)の役の鈴木俊也らがそれにこたえた。1幕でのピンカートンは「世界中の女と宝物はおれの物だ」と豪語する傲慢な軍人。蝶々など一時しのぎの女としか認識していない。米国領事のシャープレス(塚本伸彦)の忠告など馬耳東風だ。2幕に入り、渡部の歌が安定してきた。抑えれば抑えるほど、声は伸び響きが増す。音楽が安定すると演技も冴える。感心したのはアリア「ある晴れた日に」を座ったまままで歌い出したこと。ソリストと演出、美術が一

体化した名場面だった。そして大詰め。3年ぶりに来日したピンカートンは、1幕とは打って変わって片目、片腕を患った無様な姿で登場する。蝶々とピンカートンの妻(やまもとかよ)が対峙するのもジュゼッペ版の特徴だ。女と女の静かな

闘い、そして蝶々の自害。武士の娘であった蝶々の短くも壮絶な人生が幕を閉じるのである。2日目の舞台も好評で、浅井グループを見た知人は「近年の二期会オペラでは群を抜く出来」と絶賛した。(シゲル)

和洋の音楽、舞踊で日本を描く

北文化小劇場 若こころ名古屋公演

本花道と機軸席を備えた「和の創造空間」北文化小劇場では1月13日(午後6時30分)14日(午後2時、5時30分)「NIPPONへ行こう」日本



ALTOS



落合 健史

関東若獅子会



市川ミサオ



杵屋 六春



洲本晴都子

「NIPPONへ行こう」

描く。

出演者は多彩だ。演奏陣は、ショアアップされた和太鼓演奏で定評の「関東若獅子会」。バイオリン、箏、エレクトーンで構成する異色の女性トリ「ALTOS」。

ダンサーは、構成・演出を兼ねるステージダンスのスペシャリスト落合健史。タップダンス第一人者の市川ミサオ。ミュージカルの山崎未友季ら。特別出演の杵屋六春は、母・六秋とともに地元邦楽界で引っ張りだこの長唄唄方。同じく洲本晴都子は和洋の音楽、舞踊に精通するオールマイティ・アーティストだ。北文化小劇場は国道41号黒川交差点を北へ徒歩12分。全自由席3000円。TEL052(910)3366。

前田はるみ
— 平和希求ライブ —
2016年12月19日 月
カフェ・コンセル・エルム
開演/19:30 入場料/¥5,500

菅原洋一
— 平和希求ライブ —
2017年1月23日 月
カフェ・コンセル・エルム
開演/19:30 入場料/¥8,000

布施 明
— 君に会いに行くよ —
2017年2月19日 日
愛知県芸術劇場大ホール
開演/17:00 入場料/¥6,800

チケット取扱 café concert ELM / カフェ・コンセル・エルム
TEL 052-733-0085 mail / mail@chanson-japonaise.com

竹元は巫女(みこと)となり、太宰を天界から頭上に舞い降りしてみせた。ことばの会「えくせるしあ」を主宰する竹元まき子の朗読劇「太宰治・葉桜と魔笛」だ。

太宰治が天界から舞い降りた?!

竹元まき子朗読劇

「太宰治・葉桜と魔笛」

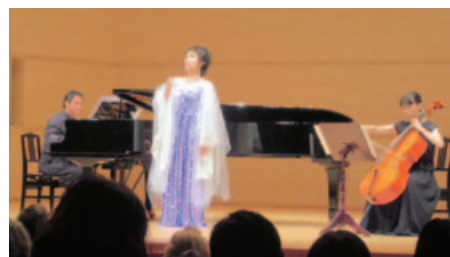


竹元まき子

「人」の口笛を真似る魔笛だ。妹を捨てた男がしたためた手紙が途絶え、それを不憫に思った姉は男

レーン(ギリシャ神話に登場する海の妖怪)が押し寄せて鼓膜をつんざいた。ところが妹は、それが姉の代筆した音信だと見破る。というのは、妹が男から貰ったという手紙

「美しい日本語と香り高い歌を」をスローガンにする名古屋波の会(伊藤晶子代表)が定期演奏会を開催(10月29日・電気文化会館)。結成50周年となる今回は女性ソ



があつた。できれば一部分だけでなく、全編の再演を期待したい。(上原宏)

ソリストそれぞれ非凡な才能発揮

名古屋「波の会」

「美しい日本語と香り高い歌を」をスローガンにする名古屋波の会(伊藤晶子代表)が定期演奏会を開催(10月29日・電気文化会館)。結成50周年となる今回は女性ソ

は、すべて妹が自ら書いたものだと思ふからからだ。この贋(にせ)手紙のくだりは、のちに寺山修司が「書簡演劇」に脚色。高校の先輩・太宰の「葉桜と魔笛」を自家楽譜中(じかやくろうちゅう)の物にした。

戦時、島根の沖合で聞こえたバルチック艦隊と東郷平八郎艦隊の砲声が、妹のアポカルフィス(神が人間に示す言葉)になったわけだ。

作曲家でもある出田光代(ソプラノ)は、谷村新司の「群青」をクラシック風に編曲して歌った。写真。つぶやくように語り掛ける谷村とは対極の歌唱だったが、それはそれ。可能性を追求する積極的な姿勢を評価したい。

歌った空家の風鈴と、自ら作詞した「春の声」空家の風鈴パート2を初演。作詞家としての非凡な才能を見せた。

HITOMIホール
プリズムステージ
多彩に煌めくステージをHITOMIホールで——
MBAイベント事業部が企画するHITOMIホール プリズムステージ、その他の公演についても随時、情報発信しています
<http://event.menicon-ba.co.jp/>

チケットお申込み・お問合せ
[メニコンビジネスアシスト(MBA)イベント事業部]
電話 052-935-1630 (平日10:00~17:00)
メール mba-event@menicon-net.co.jp
※未就学のお子様の入場は、ご遠慮ください。

~朗読と音楽で紡ぐ、純愛~「智恵子抄」田園交響楽より
原作:高村光太郎
2017 1/24(火) 1回目 19:00開演 [18:15開場]
1/25(水) 2回目 15:00開演 [14:15開場]
3回目 19:00開演 [18:15開場]
料金/2,500円 [全自由席]
企画・作曲/宗川諭理夫
出演/榎原 忠美(朗読・光太郎)
水野慎太郎(ヴァイオリン) 河井 裕二(チェロ) 田中 敦子(ハープ)

遠山事務所

重厚な芝居作りで定評のある遠山事務所が、芸術創造センターとの共催で「望郷」サンダカン八番娼館（演出・遠山元）を上演した。山崎朋子の原作、映画にもなった名作で、同事務所では8年振りの再演になる。

生活苦のために人身売買され、娼婦としての生活を描いた社会派ドラマ。現在と過去の二重構造で構成され、主役のサキを小嶋彩子（現在）と葉月充（少女時代）が渾身の演技で描き上げた。

明治から昭和にかけての不幸な時代に生きた無力な一般国民が「お国のために」費やした犠牲は

舞台批評

高度な演技で山崎文学を再生



「望郷」の小嶋彩子と中田裕子

選抜メンバー翻訳喜劇に四苦八苦



市民芸術祭主催公演「ルームサービス」

計り知れない。「国」が行った暴挙、愚策には、今さらながら怒りがこみ上げる。

物語は主人公サキの回想によって進展する。悪党にもわずかな善意があり、逆境の人にも一時の喜びがある。100人には100通りの人生がある。山崎文学の真骨頂である。

出演者は多彩で、おしなべてレベルが高い。宮本浩二、野畑幸治、柴田亮彦ら、通常の座組みならメインキャストを務める俳優たちが、ここでは喜々として脇役を演じている。

膨大なせりふと運動量。役者にとって翻訳喜劇ほど難しいものはない。名古屋市民芸術祭主催公演「ルームサービス」

「ルームサービス」

腰の曲がった老人を演じるのは相当きつい。彼女の努力と根性に拍手を送りたい。

11月3・5日・芸術創造センター。

見せてほしいオペラ歌手の巧み、



水谷友香と手塚淑子の「赤トンボ」



エレガントなライモンダのワンシーン

名古屋二期会

名古屋二期会のオペラ歌手が新旧の日本歌曲を歌う「歌の玉手箱（監修・関定子）その13回目の公演（11月3日・しらかわホール）を見た。

幕開けの「童謡」では水谷友香、手塚淑子の手話を交えた「赤トンボ」

に情感がこもった。続く「日本歌曲」では「空家の風鈴」を巧みな口舌で歌った渚本晴都子、荒城の月で力強いバスを響かせた水谷和樹が秀逸だった。

後半の「世界の名曲」では「マリア」を歌った鈴木俊也の、抑えの利いたテノールに好感。山口歌うことに異論はない

優美なバレエ、優雅な音楽に陶酔

岡田純奈バレエ団

ゆったりと流れる音楽ステージで繰り広げられるのは古風で品格のあるラブロマンス。目、耳そして心の保養をさせてもらった。岡田純奈バレエ団の「ライモンダ」

（11月12日・市民会館大ホール）だ。

まずは前奏曲。稲垣宏樹指揮・中部フィルハーモニー交響楽団の演奏は繊細でにこやかすれがない。これで本編への期待が一気に高まる。

「ライモンダ」の全幕はめったに上演されない。オペラ歌手が歌曲を歌うことに異論はない



「TANGO」の宝物ことネーミングした公演。「パキータ」のDREAMING MARC h「TANGGO」

金澤&志村、情感あふれるデュオ

金澤バレエスタジオ

主宰の金澤志保が「MTreasure（私

GO」の3部構成で、振付はいずれも志村昌宏。主作品「TANGGO」は名古屋市民芸術祭の参

抜された名優で、修正能力が高いのだ。出演はティナ棚橋、園田裕史、山本仁ら13人。にニューヨークで初演され、500回のロングランを記録したヒット作。ホテルの一室を背景に、貧乏劇団のスタッフらが繰り広げるドタバタ喜劇。

できれば避けたい翻訳喜劇。それは演出家にとっても同様で、今回演出を託されたはせひろゆきは「作品を替えてもらえないか」と事業団に直訴したとか。「静かな演劇」を実践するはせひろゆきに無理もない。

果たして初日の舞台、選抜された俳優たちの指向はまちまちで、言葉のトーンが噛み合わず笑いも生まれにくい。しかし2幕に入り、ようやく芝居が活性した。さすがに選



アートバレエ

全幕挑戦ダンサー100人1丸で

が群を抜いた。翻訳ものを得意とする劇団出身だけのことはある。劇中の劇団は何かと新作をヒットさせ、窮地をしのいだ。もしや事業団は、この二重構造の面白さを狙ったのでは…。

岡崎を拠点に西三河6地区でバレエ、ジャズ、タップのスタジオを展開するアートバレエ（代表・小野由加利）が、創立60周年記念公演「眠れる森の美女」を開いた（10月2日・市民会館フォレストホール）＝写真（テス大阪・岡村昌夫）。

うより、発表会の延長だが、その割にはうまくまとめた。振付、演出・徳山博士の手腕である。オーロラ姫を踊ったのは原田あづき、橋本彩花、杉浦未来の3人。最も安定していたのは杉浦だが、これも他の2人と比較してのこと。在名大手バレエ団のプリマとは、まだまだ力の差がある。心強いのは、相手役のデジレ王子を団員の野々山亮（今秋カナダVABバレエシアターに入団）が好演したことか。

私たちは「ナゴヤ劇場ジャーナル」を応援します	
青山 皆江 岡崎 保彦 玉田 弘子	秋田 巴喜子 小倉ひろこ つつみあつき
阿久津 紀子 越智久美子 手塚 淑子	浅井 道雄 小野由加利 戸田美江子
荒川 洋子 加藤 静子 中川 幸作	出田 光代 金澤 志保 仲条 優理
伊藤 敬 かねあきり 夏目 久子	稲垣 舞比 蟹江 尾八 名鶴ひとみ
井上 初子 神谷久美子 西川 長秀	斎 千龍 小池 真琴 野々山保治
内田 寿千代 工藤寿々弥 野村 祐子	内田 寿典 榊原菜生 服部 節子
内田 寿晴 佐藤美智子 服部はる江	内田 寿哉 澤脇 達晴 林 雅仁
内田 寿起 翠 島田 倫子 渚本晴都子	内田 寿の千鶴 白樺 八青 松下 奈央
内田 寿の登 瑞鳳 澄依 松本 道子	内田 寿の美 鈴木久美子 見波 紀子
内田 寿の美知 鈴木 文雄 みやちともこ	大島 明子 角田真優美 宮西 圭子
大寺 資二 高橋 肇 山口 雅子	岡田 一男 武市 孝三 よしみゆこ
岡田 純奈 竹元まき子 渡部 千枝	

会員募集

「ナゴヤ劇場ジャーナル」では発行をご支援いただけるサポーター会員を募集しています。会費は年間6480円（税込）です。会員には小紙を毎月お届けするほか、紙面にお名前を掲載（希望者のみ）。

「ナゴヤ劇場ジャーナル」では発行をご支援いただけるサポーター会員を募集しています。会費は年間6480円（税込）です。会員には小紙を毎月お届けするほか、紙面にお名前を掲載（希望者のみ）。

間奏曲

「あいちトリエンナーレ2016」が幕を閉じた。美術、舞台公演など多くが行われたが、おおむね成功と言えるだろう。私が鑑賞できた舞台芸術公演を中心に振り返ってみた。

この公演で印象的だったのは、まず東海パロックプロジェクト制作のモンテヴェルディ「ボッペ

地元勢、トリエンナーレで成果

アの戴冠」。オペラの草創期の作品を名古屋で初演した意義だけでなく、可能な限り地元の演奏家を集めた舞台は高いレベルを保った。テアトル・ド・バレエカンパニーの「春の祭典」「夏の夜の夢」は対照的な2作品で、バレエの醍醐味を味わえた。現代舞

人間味に満ちたヤナーチェク作品

ソプラノ小林史子

ソプラノ小林史子のリサイタル(11月16日・電気文化会館)は「ヤナーチェクの世界」で新たな発見と学習ができた。

名古屋では屈指の実力者。イタリアものが得意と思っていたが、ヤナーチェクとの出会いが新境地を開いた。「フクヴァルディ民謡詩」「モラヴィア民謡詩」など歌曲とオペラ「イエス・マリア」マク

ロプロス事件などのアリアを交互に並べた。

とにかく初めて耳にするチェコ語の歌ばかり。対訳をよむと興味深い内容だが、同じチェコでも

ドボルザークとは大違い。分かりやすい解説があったが、事前にヤナーチェクの勉強をしていくべきだったと少し悔やんだ。

なんとも不思議な人間味を感じる作品でうい。

一音一音に明瞭なアクセント

ピアノ戸谷誠子

秋恒例の戸谷誠子ピアノ

小林は、歌曲は言葉を読み解くように、アリアでは力強くアピールする歌いぶりで魅了した。言葉のニュアンスが理解できないのが残念だったが、ヤナーチェクに一步步近づけた気がした。

前半はモーツァルト「幻想曲」やワーグナー「リシスト」「イゾルデの愛

の死」、リスト「ダンテを讀んで」。後半はプロコフィエフ「ピアノソナタ第6番」という三者三様のプログラム。それぞれの作曲家らしい音が表現され、まず成果があった。副題の「闇から光へ」が今回のテーマ。ダンテ「神曲」には地獄と天国の世界が描かれ、プロコフィエフの「戦争ソナタ」は戦争と平和が表現されているが、こが闇で、こが光なのか、理解するのが難しい。それはともかく全体的に音が明確で、一音一音にアクセントがあり聴きやすかった。

卓越した技術若々しく豪快な音

ワイラースタイン

アメリカ人チェロ奏者アリサ・ワイラースタインの無伴奏リサイタル(11月10日・電気文化会館)は、ダイナミックな演奏が楽しめた。

名古屋では初リサイタルだが、30代半ばにして欧米の著名なオーケスト

人の女性らしい演奏スタイルを想像した。ラフな服装で髪を束ね、さっそうと登場した彼女は、若々しく豪快な音を鳴らした。

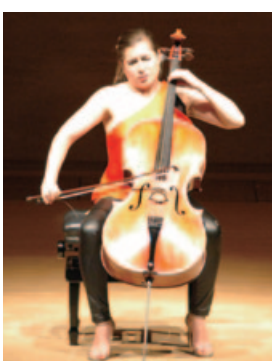
アルゼンチンの現代作品で、まず卓越した技術を披露。パツハの「無伴奏チェロ組曲第

3番は、バロック時代のパツハとは大違い。テンポを自由に操り、強じんな音で現代的なパツハを聴かせた。

以前はどちらかと言えば内面的で深みのあるスタイルだったが、最近では外向きで明るい音になった。闇から光へは、彼女自身の心の変化かもしれない。



アリサ・ワイラースタインの無伴奏リサイタル(11月10日・電気文化会館)は、ダイナミックな演奏が楽しめた。



ワイラースタイン

アルゼンチンの現代作品で、まず卓越した技術を披露。パツハの「無伴奏チェロ組曲第

3番は、バロック時代のパツハとは大違い。テンポを自由に操り、強じんな音で現代的なパツハを聴かせた。



2017年1月18日(木) 18:45
2017年1月19日(金) 19:00
全席指定 ¥5,000 学生 ¥3,000
9月25日(日) 前売開始
9月25日(日) 前売開始
9月25日(日) 前売開始

クラシックコンサートのチケットは
アイ・チケット 0570-00-5310
(10:00~17:00 ※日祝休み)
アイ・チケット web 検索
※お好きな時間にお好きな席を選んでクリック!!
カード決済・コンビニでのお支払いができます。



MEMBER
ライナー・キュッヒル
(ヴァイオリン)
Daniel Fischmann, Viola
ハインリッヒ・ホル
(ヴィオラ)
Robert Nagy, Cello
ミヒャエル・グラーデラー
(コントラバス)
Michael Bader, Contrabass
カール・ハインツ・シュミット
(フルート)
Karl Heinz Schmitt, Flute
ペーター・シュミット
(クラリネット)
Peter Schmidt, Clarinet
ヨハン・シンター
(クラリネット)
Johann Sinter, Clarinet
ヴォルフガング・トムベック
(ホルン)
Wolfgang Tombeck, Horn

Wiener Ring-Ensemble

New Year Concert 2017

ウィーン・リング・アンサンブル
ニューイヤー・コンサート

名ヴァイオリニスト、
ライナー・キュッヒル率いる
世界最高峰のアンサンブル。

2017.1/4 WED (18:00開演) 愛知県芸術劇場コンサートホール
18:30開演 SV8,000 AY6,000 BY4,000 CY3,000 (全席指定・消費税別)
主催: テレビ愛知 特別協賛: 話イアック コーポレーション 協力: クラシック名古屋 (プレイガイド)

アイ・チケット 0570-00-5310
http://clanago.com/i-ticket
チケットぴあ 0570-02-9999 (コード: 307-727) 教文プレイガイド 052-972-0430 ※570で始まる電話番号は一斉コール電話サービスに利用できません。

ご予約・お問合せ ●テレビ愛知事業部 052-243-8600 ●クラシック名古屋 052-678-5310
※本誌が掲載の人数はあくまで目安です。※中身の都合により、公演内容・日程が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

キューピッドスペシャル
ニューイヤー・コンサート2017
ウィーン・フォルクスオーパー
交響楽団

【主要曲目】
「交響曲第1番」(モーツァルト)
「交響曲第2番」(モーツァルト)
「交響曲第3番」(モーツァルト)
「交響曲第4番」(モーツァルト)
「交響曲第5番」(モーツァルト)
「交響曲第6番」(モーツァルト)
「交響曲第7番」(モーツァルト)
「交響曲第8番」(モーツァルト)
「交響曲第9番」(モーツァルト)
「交響曲第10番」(モーツァルト)
「交響曲第11番」(モーツァルト)
「交響曲第12番」(モーツァルト)
「交響曲第13番」(モーツァルト)
「交響曲第14番」(モーツァルト)
「交響曲第15番」(モーツァルト)
「交響曲第16番」(モーツァルト)
「交響曲第17番」(モーツァルト)
「交響曲第18番」(モーツァルト)
「交響曲第19番」(モーツァルト)
「交響曲第20番」(モーツァルト)
「交響曲第21番」(モーツァルト)
「交響曲第22番」(モーツァルト)
「交響曲第23番」(モーツァルト)
「交響曲第24番」(モーツァルト)
「交響曲第25番」(モーツァルト)
「交響曲第26番」(モーツァルト)
「交響曲第27番」(モーツァルト)
「交響曲第28番」(モーツァルト)
「交響曲第29番」(モーツァルト)
「交響曲第30番」(モーツァルト)
「交響曲第31番」(モーツァルト)
「交響曲第32番」(モーツァルト)
「交響曲第33番」(モーツァルト)
「交響曲第34番」(モーツァルト)
「交響曲第35番」(モーツァルト)
「交響曲第36番」(モーツァルト)
「交響曲第37番」(モーツァルト)
「交響曲第38番」(モーツァルト)
「交響曲第39番」(モーツァルト)
「交響曲第40番」(モーツァルト)
「交響曲第41番」(モーツァルト)
「交響曲第42番」(モーツァルト)
「交響曲第43番」(モーツァルト)
「交響曲第44番」(モーツァルト)
「交響曲第45番」(モーツァルト)
「交響曲第46番」(モーツァルト)
「交響曲第47番」(モーツァルト)
「交響曲第48番」(モーツァルト)
「交響曲第49番」(モーツァルト)
「交響曲第50番」(モーツァルト)
「交響曲第51番」(モーツァルト)
「交響曲第52番」(モーツァルト)
「交響曲第53番」(モーツァルト)
「交響曲第54番」(モーツァルト)
「交響曲第55番」(モーツァルト)
「交響曲第56番」(モーツァルト)
「交響曲第57番」(モーツァルト)
「交響曲第58番」(モーツァルト)
「交響曲第59番」(モーツァルト)
「交響曲第60番」(モーツァルト)
「交響曲第61番」(モーツァルト)
「交響曲第62番」(モーツァルト)
「交響曲第63番」(モーツァルト)
「交響曲第64番」(モーツァルト)
「交響曲第65番」(モーツァルト)
「交響曲第66番」(モーツァルト)
「交響曲第67番」(モーツァルト)
「交響曲第68番」(モーツァルト)
「交響曲第69番」(モーツァルト)
「交響曲第70番」(モーツァルト)
「交響曲第71番」(モーツァルト)
「交響曲第72番」(モーツァルト)
「交響曲第73番」(モーツァルト)
「交響曲第74番」(モーツァルト)
「交響曲第75番」(モーツァルト)
「交響曲第76番」(モーツァルト)
「交響曲第77番」(モーツァルト)
「交響曲第78番」(モーツァルト)
「交響曲第79番」(モーツァルト)
「交響曲第80番」(モーツァルト)
「交響曲第81番」(モーツァルト)
「交響曲第82番」(モーツァルト)
「交響曲第83番」(モーツァルト)
「交響曲第84番」(モーツァルト)
「交響曲第85番」(モーツァルト)
「交響曲第86番」(モーツァルト)
「交響曲第87番」(モーツァルト)
「交響曲第88番」(モーツァルト)
「交響曲第89番」(モーツァルト)
「交響曲第90番」(モーツァルト)
「交響曲第91番」(モーツァルト)
「交響曲第92番」(モーツァルト)
「交響曲第93番」(モーツァルト)
「交響曲第94番」(モーツァルト)
「交響曲第95番」(モーツァルト)
「交響曲第96番」(モーツァルト)
「交響曲第97番」(モーツァルト)
「交響曲第98番」(モーツァルト)
「交響曲第99番」(モーツァルト)
「交響曲第100番」(モーツァルト)

2017.1.8 (日) 13:30開演 (13:00開演)
愛知県芸術劇場コンサートホール

全席 ¥10,000 A席 ¥8,000 B席 ¥6,000 C席 ¥4,000 D席 ¥2,000 (全席指定・消費税別)

○東海テレビチケットセンター 052-951-9104
○東海テレビオンラインチケット tokai-tv.com
○アイ・チケット 0570-00-5310
clanago.com/i-ticket

EISUKO TERADA & KIKUO WATANABE DUO PIANO RECITAL
~愛のワルツ~
寺田悦子
渡邊規久雄
ニューイヤー・ピアノ・デュオ

【主要曲目】
「交響曲第1番」(モーツァルト)
「交響曲第2番」(モーツァルト)
「交響曲第3番」(モーツァルト)
「交響曲第4番」(モーツァルト)
「交響曲第5番」(モーツァルト)
「交響曲第6番」(モーツァルト)
「交響曲第7番」(モーツァルト)
「交響曲第8番」(モーツァルト)
「交響曲第9番」(モーツァルト)
「交響曲第10番」(モーツァルト)
「交響曲第11番」(モーツァルト)
「交響曲第12番」(モーツァルト)
「交響曲第13番」(モーツァルト)
「交響曲第14番」(モーツァルト)
「交響曲第15番」(モーツァルト)
「交響曲第16番」(モーツァルト)
「交響曲第17番」(モーツァルト)
「交響曲第18番」(モーツァルト)
「交響曲第19番」(モーツァルト)
「交響曲第20番」(モーツァルト)
「交響曲第21番」(モーツァルト)
「交響曲第22番」(モーツァルト)
「交響曲第23番」(モーツァルト)
「交響曲第24番」(モーツァルト)
「交響曲第25番」(モーツァルト)
「交響曲第26番」(モーツァルト)
「交響曲第27番」(モーツァルト)
「交響曲第28番」(モーツァルト)
「交響曲第29番」(モーツァルト)
「交響曲第30番」(モーツァルト)
「交響曲第31番」(モーツァルト)
「交響曲第32番」(モーツァルト)
「交響曲第33番」(モーツァルト)
「交響曲第34番」(モーツァルト)
「交響曲第35番」(モーツァルト)
「交響曲第36番」(モーツァルト)
「交響曲第37番」(モーツァルト)
「交響曲第38番」(モーツァルト)
「交響曲第39番」(モーツァルト)
「交響曲第40番」(モーツァルト)
「交響曲第41番」(モーツァルト)
「交響曲第42番」(モーツァルト)
「交響曲第43番」(モーツァルト)
「交響曲第44番」(モーツァルト)
「交響曲第45番」(モーツァルト)
「交響曲第46番」(モーツァルト)
「交響曲第47番」(モーツァルト)
「交響曲第48番」(モーツァルト)
「交響曲第49番」(モーツァルト)
「交響曲第50番」(モーツァルト)
「交響曲第51番」(モーツァルト)
「交響曲第52番」(モーツァルト)
「交響曲第53番」(モーツァルト)
「交響曲第54番」(モーツァルト)
「交響曲第55番」(モーツァルト)
「交響曲第56番」(モーツァルト)
「交響曲第57番」(モーツァルト)
「交響曲第58番」(モーツァルト)
「交響曲第59番」(モーツァルト)
「交響曲第60番」(モーツァルト)
「交響曲第61番」(モーツァルト)
「交響曲第62番」(モーツァルト)
「交響曲第63番」(モーツァルト)
「交響曲第64番」(モーツァルト)
「交響曲第65番」(モーツァルト)
「交響曲第66番」(モーツァルト)
「交響曲第67番」(モーツァルト)
「交響曲第68番」(モーツァルト)
「交響曲第69番」(モーツァルト)
「交響曲第70番」(モーツァルト)
「交響曲第71番」(モーツァルト)
「交響曲第72番」(モーツァルト)
「交響曲第73番」(モーツァルト)
「交響曲第74番」(モーツァルト)
「交響曲第75番」(モーツァルト)
「交響曲第76番」(モーツァルト)
「交響曲第77番」(モーツァルト)
「交響曲第78番」(モーツァルト)
「交響曲第79番」(モーツァルト)
「交響曲第80番」(モーツァルト)
「交響曲第81番」(モーツァルト)
「交響曲第82番」(モーツァルト)
「交響曲第83番」(モーツァルト)
「交響曲第84番」(モーツァルト)
「交響曲第85番」(モーツァルト)
「交響曲第86番」(モーツァルト)
「交響曲第87番」(モーツァルト)
「交響曲第88番」(モーツァルト)
「交響曲第89番」(モーツァルト)
「交響曲第90番」(モーツァルト)
「交響曲第91番」(モーツァルト)
「交響曲第92番」(モーツァルト)
「交響曲第93番」(モーツァルト)
「交響曲第94番」(モーツァルト)
「交響曲第95番」(モーツァルト)
「交響曲第96番」(モーツァルト)
「交響曲第97番」(モーツァルト)
「交響曲第98番」(モーツァルト)
「交響曲第99番」(モーツァルト)
「交響曲第100番」(モーツァルト)

2017年1月18日(木) 18:45
2017年1月19日(金) 19:00
全席指定 ¥5,000 学生 ¥3,000
9月25日(日) 前売開始
9月25日(日) 前売開始
9月25日(日) 前売開始

ベトール・アルトリヒ指揮
プラハ交響楽団
Petr Altrichter: Conductor
Prague Symphony Orchestra

チェコの名匠と名門オーケストラによる、深い感情で奏でる祖国への熱い思い!

2017年3月15日(水) 愛知県芸術劇場コンサートホール
19:00開演 (14:30開演)
全席 ¥13,000 A席 ¥11,000 B席 ¥8,000 C席 ¥6,000 D席 ¥4,000 (全席指定・消費税別)

主催: テレビ愛知事業部 052-243-8600 クラシック名古屋 052-678-5310

アイ・チケット 0570-00-5310
http://clanago.com/i-ticket
チケットぴあ 0570-02-9999 (コード: 307-727) 教文プレイガイド 052-972-0430 ※570で始まる電話番号は一斉コール電話サービスに利用できません。

奏でる人を聴きたい人へ 人と音を結ぶ
♪ クラシック名古屋
052-678-5310
名古屋市中区正木4-8-7 れんが橋ビル1F



クラシックコンサートのチケットは
アイ・チケット 0570-00-5310
(10:00~17:00 ※日祝休み)
アイ・チケット web 検索
※お好きな時間にお好きな席を選んでクリック!!
カード決済・コンビニでのお支払いができます。

クラシック名古屋のプレイガイド
「アイ・チケット」
多くのクラシックコンサートのチケット
販売から、ホール、座席のこまごまオペレータが、丁寧に対応いたします。
ホームページからもチケット購入ができる、
便利なクラシック専門のプレイガイドです。